

種目【数学】(1/4)

調査の方法	2 東書	4 大日本																																																																																												
1-(1) ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために、どのような数学の学習内容が取り上げられ、程度や分量、構成等はどのようなか。 ・全国学力・学習状況調査等で課題とされている内容がどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記：－</td> <td>－</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記：○</td> <td>(平均値表記：○)</td> <td>(4箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性：○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け：第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書(P221～244)</th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td>①②③</td> <td>①②③</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	33	29	34	96	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記：－	－	○	ヒストグラムとの併記：○	(平均値表記：○)	(4箇所)	中央値の一般性：○				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	24	16	14	54	教科書(P221～244)	用語の説明	求め方の例示(式等)	①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	①②③	<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記：－</td> <td>－</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記：○</td> <td>(平均値表記：－)</td> <td>(4箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性：－</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>26</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け：第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書(P238～263)</th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td>③</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	26	24	26	76	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記：－	－	○	ヒストグラムとの併記：○	(平均値表記：－)	(4箇所)	中央値の一般性：－				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	26	14	18	58	教科書(P238～263)	用語の説明	求め方の例示(式等)	①平均値 ②中央値 ③最頻値	③	③																
	1年	2年	3年	計																																																																																										
節末、章末の練習問題のページ数(p)	33	29	34	96																																																																																										
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																																																												
ドットプロットとの併記：－	－	○																																																																																												
ヒストグラムとの併記：○	(平均値表記：○)	(4箇所)																																																																																												
中央値の一般性：○																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
「データの活用」領域の章のページ数(p)	24	16	14	54																																																																																										
教科書(P221～244)	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																																																												
①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	①②③																																																																																												
	1年	2年	3年	計																																																																																										
節末、章末の練習問題のページ数(p)	26	24	26	76																																																																																										
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																																																												
ドットプロットとの併記：－	－	○																																																																																												
ヒストグラムとの併記：○	(平均値表記：－)	(4箇所)																																																																																												
中央値の一般性：－																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
「データの活用」領域の章のページ数(p)	26	14	18	58																																																																																										
教科書(P238～263)	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																																																												
①平均値 ②中央値 ③最頻値	③	③																																																																																												
1-(2) ・思考力、判断力、表現力等を育むために、どのような数学的活動や問題解決的な学習内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 ・働かせる数学的な見方・考え方はどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ほぼ全ての章の「深い学びのページ」に、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→振り返る→深める」の過程を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・巻末：各学年5ページ ・虫めがねマーク</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	14	13	13	40	数学的な見方・考え方の一覧や特集等			・巻末：各学年5ページ ・虫めがねマーク	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての章に、「問題を見いだそう→解決のしかたを探ろう→解決しよう→深めよう」の過程を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・巻頭：各学年2～3ページ ・問いやキャラクターの発言</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	14	13	16	43	数学的な見方・考え方の一覧や特集等			・巻頭：各学年2～3ページ ・問いやキャラクターの発言																																																																
	1年	2年	3年	計																																																																																										
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	14	13	13	40																																																																																										
数学的な見方・考え方の一覧や特集等																																																																																														
	・巻末：各学年5ページ ・虫めがねマーク																																																																																													
	1年	2年	3年	計																																																																																										
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	14	13	16	43																																																																																										
数学的な見方・考え方の一覧や特集等																																																																																														
	・巻頭：各学年2～3ページ ・問いやキャラクターの発言																																																																																													
2-(1) ・数学のよさを実感できるように、どのような内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章：日常生活や社会と関連した内容の特集(p)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「学びをひろげよう」で、学習に関連した読み物や数学が実社会で活用されている例等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	各章：日常生活や社会と関連した内容の特集(p)	4	4	2	10	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章：日常生活や社会と関連した内容の特集(p)</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「社会にリンク」「活用・探究」「MATHFUL」で、仕事の中の数学を紹介する読み物等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	各章：日常生活や社会と関連した内容の特集(p)	13	11	17	41																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
各章：日常生活や社会と関連した内容の特集(p)	4	4	2	10																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
各章：日常生活や社会と関連した内容の特集(p)	13	11	17	41																																																																																										
2-(2) ・家庭において自ら学習に取り組む上で、理解度を高めるためのどのような工夫があるか。	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成：第3学年「2次方程式の利用」(P85～86)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>－</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見通しをもつための問い</td> <td>○</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見通しの明記</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>－</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>○</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	－	⑤	解答の明記	○	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	－	③	見通しをもつための問い	○	⑦	発展性	○	④	見通しの明記	○				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	－	総合問題・入試問題	－	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	○	課題学習	○	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成：第3学年「2次方程式の利用」(P95～96)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>－</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見通しをもつための問い</td> <td>前述</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見通しの明記</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>－</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>○</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	－	⑤	解答の明記	－	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	－	③	見通しをもつための問い	前述	⑦	発展性	○	④	見通しの明記	○				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	－	総合問題・入試問題	○	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	○	課題学習	○
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																																																																									
①	利用場面の設定	－	⑤	解答の明記	○																																																																																									
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	－																																																																																									
③	見通しをもつための問い	○	⑦	発展性	○																																																																																									
④	見通しの明記	○																																																																																												
内容	有無	内容	有無																																																																																											
学習の足跡等の記入	－	総合問題・入試問題	－																																																																																											
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																																																											
復習問題・復習内容	○	課題学習	○																																																																																											
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																																																																									
①	利用場面の設定	－	⑤	解答の明記	－																																																																																									
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	－																																																																																									
③	見通しをもつための問い	前述	⑦	発展性	○																																																																																									
④	見通しの明記	○																																																																																												
内容	有無	内容	有無																																																																																											
学習の足跡等の記入	－	総合問題・入試問題	○																																																																																											
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																																																											
復習問題・復習内容	○	課題学習	○																																																																																											
3 ・コンピュータ、情報通信ネットワークなど、どのような情報手段が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「Dマーク」に、シミュレーション、動画、他教科へのリンク、インタビュー映像、プログラミング等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	25	16	11	52	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「WEBマーク」に、シミュレーション、動画、資料、インタビュー記事、外部リンク、音声再生等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	19	11	20	50																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
デジタルコンテンツ(個)	25	16	11	52																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
デジタルコンテンツ(個)	19	11	20	50																																																																																										
4-(1) ・教科書の総ページ数、重量はどのようなか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>312</td> <td>250</td> <td>284</td> <td>846</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>538</td> <td>424</td> <td>476</td> <td>1438</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	312	250	284	846	重量(g)	538	424	476	1438	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>324</td> <td>250</td> <td>302</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>550</td> <td>420</td> <td>510</td> <td>1480</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	324	250	302	876	重量(g)	550	420	510	1480																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
総ページ数(p)	312	250	284	846																																																																																										
重量(g)	538	424	476	1438																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
総ページ数(p)	324	250	302	876																																																																																										
重量(g)	550	420	510	1480																																																																																										
4-(2) ・障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。 ・印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。	<p>・カラーユニバーサルデザインに対応し、ルビなどの小さい文字にはUDフォントを採用している。</p> <p>・本文や「例」の文字の大きさを、「問」よりも1P大きくし、さらに数式の文字については、和文より大きくしている。</p>	<p>・ユニバーサルデザインの考え方で編集し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>・小学校や高等学校とのつながり、生徒の発達段階に合わせた文字の大きさ、行間の広さにしている。</p>																																																																																												
4-(3) ・数学用語の索引数は、どのようなか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>107</td> <td>46</td> <td>31</td> <td>184</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	107	46	31	184	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>160</td> <td>77</td> <td>55</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	160	77	55	292																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
索引数(個)	107	46	31	184																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
索引数(個)	160	77	55	292																																																																																										

種目【数学】(2/4)

調査の方法	11 学図	17 教出																																																																																												
<p>1-(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために、どのような数学の学習内容が取り上げられ、程度や分量、構成等はどのようなか。 全国学力・学習状況調査等で課題とされている内容がどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 	<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>40</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記:○</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記:—</td> <td>(平均値表記:○)</td> <td>(4箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性:—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>30</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け: 第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教科書(P231~260)</td> <td>①②③</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	40	33	40	113	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記:○	—	○	ヒストグラムとの併記:—	(平均値表記:○)	(4箇所)	中央値の一般性:—				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	30	15	18	63		用語の説明	求め方の例示(式等)	教科書(P231~260)	①②③	—	①平均値 ②中央値 ③最頻値			<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記:—</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記:○</td> <td>(平均値表記:○)</td> <td>(6箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性:○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>27</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け: 第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教科書(P238~264)</td> <td>①②③</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td></td> <td>練習問題</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	32	21	28	81	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記:—	○	○	ヒストグラムとの併記:○	(平均値表記:○)	(6箇所)	中央値の一般性:○				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	27	19	17	63		用語の説明	求め方の例示(式等)	教科書(P238~264)	①②③	①	①平均値 ②中央値 ③最頻値		練習問題										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
節末、章末の練習問題のページ数(p)	40	33	40	113																																																																																										
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																																																												
ドットプロットとの併記:○	—	○																																																																																												
ヒストグラムとの併記:—	(平均値表記:○)	(4箇所)																																																																																												
中央値の一般性:—																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
「データの活用」領域の章のページ数(p)	30	15	18	63																																																																																										
	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																																																												
教科書(P231~260)	①②③	—																																																																																												
①平均値 ②中央値 ③最頻値																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
節末、章末の練習問題のページ数(p)	32	21	28	81																																																																																										
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																																																												
ドットプロットとの併記:—	○	○																																																																																												
ヒストグラムとの併記:○	(平均値表記:○)	(6箇所)																																																																																												
中央値の一般性:○																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
「データの活用」領域の章のページ数(p)	27	19	17	63																																																																																										
	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																																																												
教科書(P238~264)	①②③	①																																																																																												
①平均値 ②中央値 ③最頻値		練習問題																																																																																												
<p>1-(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等を育むために、どのような数学的活動や問題解決的な学習内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 働かせる数学的な見方・考え方はどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ほぼ全ての章に、「問題を見つける→予想する→解決する→新たな問題を見つける」の過程を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・巻末:各学年2ページ ・!見方・考え方マーク</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	13	14	15	42	数学的な見方・考え方の一覧や特集等			・巻末:各学年2ページ ・!見方・考え方マーク	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ほぼ全ての章に、「問題を見いだそう→問題をつかもう→自分の考えをもとう→友だちの考えを知ろう→みんなで話し合おう→ふり返ろう→深めよう」の過程を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・巻頭:各学年4ページ ・数学的な考え方マーク</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	12	9	12	33	数学的な見方・考え方の一覧や特集等			・巻頭:各学年4ページ ・数学的な考え方マーク																																																																
	1年	2年	3年	計																																																																																										
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	13	14	15	42																																																																																										
数学的な見方・考え方の一覧や特集等																																																																																														
	・巻末:各学年2ページ ・!見方・考え方マーク																																																																																													
	1年	2年	3年	計																																																																																										
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	12	9	12	33																																																																																										
数学的な見方・考え方の一覧や特集等																																																																																														
	・巻頭:各学年4ページ ・数学的な考え方マーク																																																																																													
<p>2-(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを実感できるように、どのような内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章:日常生活や社会と関連した内容の特集(p)</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「役立つ数学」「深めよう!」で、読み物教材や身近に活用されている数学の例等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	各章:日常生活や社会と関連した内容の特集(p)	11	9	12	32	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「数学の広場」で、日常生活や実社会に関連する話題や課題等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	6	5	6	17																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
各章:日常生活や社会と関連した内容の特集(p)	11	9	12	32																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	6	5	6	17																																																																																										
<p>2-(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭において自ら学習に取り組む上で、理解度を高めるためのどのような工夫があるか。 	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成: 第3学年「2次方程式の利用」(P92)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>—</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見直しをもつための問い</td> <td>前述</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見直しの明記</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>—</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>○</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	○	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○	③	見直しをもつための問い	前述	⑦	発展性	—	④	見直しの明記	—				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	○	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	○	課題学習	○	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成: 第3学年「2次方程式の利用」(P95)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>—</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見直しをもつための問い</td> <td>前述</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見直しの明記</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>—</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>○</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	○	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○	③	見直しをもつための問い	前述	⑦	発展性	—	④	見直しの明記	○				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	○	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	○	課題学習	○
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																																																																									
①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	○																																																																																									
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○																																																																																									
③	見直しをもつための問い	前述	⑦	発展性	—																																																																																									
④	見直しの明記	—																																																																																												
内容	有無	内容	有無																																																																																											
学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	○																																																																																											
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																																																											
復習問題・復習内容	○	課題学習	○																																																																																											
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																																																																									
①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	○																																																																																									
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○																																																																																									
③	見直しをもつための問い	前述	⑦	発展性	—																																																																																									
④	見直しの明記	○																																																																																												
内容	有無	内容	有無																																																																																											
学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	○																																																																																											
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																																																											
復習問題・復習内容	○	課題学習	○																																																																																											
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータ、情報通信ネットワークなど、どのような情報手段が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「学図プラス」に、アプリ、動画、外部リンク、プログラミング等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	14	10	17	41	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「まなびリンク」に、動画、アニメーション、シミュレーション、統計データリンク集、練習問題等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	13	7	9	29																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
デジタルコンテンツ(個)	14	10	17	41																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
デジタルコンテンツ(個)	13	7	9	29																																																																																										
<p>4-(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の総ページ数、重量はどのようなか。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>316</td> <td>270</td> <td>310</td> <td>896</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>554</td> <td>476</td> <td>542</td> <td>1572</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	316	270	310	896	重量(g)	554	476	542	1572	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>332</td> <td>280</td> <td>306</td> <td>918</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>574</td> <td>476</td> <td>518</td> <td>1568</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	332	280	306	918	重量(g)	574	476	518	1568																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
総ページ数(p)	316	270	310	896																																																																																										
重量(g)	554	476	542	1572																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
総ページ数(p)	332	280	306	918																																																																																										
重量(g)	574	476	518	1568																																																																																										
<p>4-(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。 印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインを採用している。 発達段階に合わせた文字の大きさ、字間にし、分数などの数式が組み合わさった際に、適宜行間を開けている。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 発達段階に合わせた文字の大きさにし、指導の流れの区切りなどでは、適宜行間を開けている。 																																																																																												
<p>4-(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学用語の索引数は、どのようなか。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>113</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>202</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	113	51	38	202	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>117</td> <td>49</td> <td>29</td> <td>195</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	117	49	29	195																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
索引数(個)	113	51	38	202																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
索引数(個)	117	49	29	195																																																																																										

種目【数学】(3/4)

調査の方法	61 啓林館	104 教研																																																																																												
1-(1) ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために、どのような数学の学習内容が取り上げられ、程度や分量、構成等はどのようなであるか。 ・全国学力・学習状況調査等で課題とされている内容がどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなであるか。	<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>41</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記:○</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記:—</td> <td>(平均値表記:—)</td> <td>(2箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性:○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>26</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け: 第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書(P214~239)</th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td>①②③</td> <td>①②③</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	38	32	41	111	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記:○	—	○	ヒストグラムとの併記:—	(平均値表記:—)	(2箇所)	中央値の一般性:○				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	26	12	16	54	教科書(P214~239)	用語の説明	求め方の例示(式等)	①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	①②③	<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記:—</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記:○</td> <td>(平均値表記:—)</td> <td>(3箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性:○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け: 第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書(P224~248)</th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td>①②③</td> <td>練習問題</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	28	26	27	81	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記:—	○	○	ヒストグラムとの併記:○	(平均値表記:—)	(3箇所)	中央値の一般性:○				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	25	16	17	58	教科書(P224~248)	用語の説明	求め方の例示(式等)	①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	練習問題																
	1年	2年	3年	計																																																																																										
節末、章末の練習問題のページ数(p)	38	32	41	111																																																																																										
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																																																												
ドットプロットとの併記:○	—	○																																																																																												
ヒストグラムとの併記:—	(平均値表記:—)	(2箇所)																																																																																												
中央値の一般性:○																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
「データの活用」領域の章のページ数(p)	26	12	16	54																																																																																										
教科書(P214~239)	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																																																												
①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	①②③																																																																																												
	1年	2年	3年	計																																																																																										
節末、章末の練習問題のページ数(p)	28	26	27	81																																																																																										
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																																																												
ドットプロットとの併記:—	○	○																																																																																												
ヒストグラムとの併記:○	(平均値表記:—)	(3箇所)																																																																																												
中央値の一般性:○																																																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
「データの活用」領域の章のページ数(p)	25	16	17	58																																																																																										
教科書(P224~248)	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																																																												
①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	練習問題																																																																																												
1-(2) ・思考力、判断力、表現力等を育むために、どのような数学的活動や問題解決的な学習内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなであるか。 ・働かせる数学的な見方・考え方はどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなであるか。	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ほぼ全ての章に、「利用場面→場面の状況を整理して問題設定→見直しを立てて問題を解決→問題を広げ深める」の過程を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・巻末:各学年3ページ ・虫めがねマーク</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	10	12	18	40	数学的な見方・考え方の一覧や特集等			・巻末:各学年3ページ ・虫めがねマーク	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての章の「TRY」に、対話を通じた比較検討の活動を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・巻頭・巻末:各学年なし ・生徒キャラクターの対話</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	20	26	20	66	数学的な見方・考え方の一覧や特集等			・巻頭・巻末:各学年なし ・生徒キャラクターの対話																																																																
	1年	2年	3年	計																																																																																										
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	10	12	18	40																																																																																										
数学的な見方・考え方の一覧や特集等																																																																																														
	・巻末:各学年3ページ ・虫めがねマーク																																																																																													
	1年	2年	3年	計																																																																																										
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	20	26	20	66																																																																																										
数学的な見方・考え方の一覧や特集等																																																																																														
	・巻頭・巻末:各学年なし ・生徒キャラクターの対話																																																																																													
2-(1) ・数学のよさを実感できるように、どのような内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなであるか。	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「数学ライブラリー」で、学習したその章の内容に関連のある身のまわりの題材を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	11	8	5	24	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「やってみよう」「調べよう」等で、その章の内容に関連する話題等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	7	4	7	18																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	11	8	5	24																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	7	4	7	18																																																																																										
2-(2) ・家庭において自ら学習に取り組む上で、理解度を高めるためのどのような工夫があるか。	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成: 第3学年「2次方程式の利用」(P80~81)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>○</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見直しをもつための問い</td> <td>○</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見直しの明記</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>○</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>○</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	○	⑤	解答の明記	○	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○	③	見直しをもつための問い	○	⑦	発展性	○	④	見直しの明記	○				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	○	総合問題・入試問題	○	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	○	課題学習	○	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成: 第3学年「2次方程式の利用」(P92)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>—</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見直しをもつための問い</td> <td>○</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見直しの明記</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>—</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>○</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	—	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	—	③	見直しをもつための問い	○	⑦	発展性	—	④	見直しの明記	—				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	—	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	○	課題学習	○
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																																																																									
①	利用場面の設定	○	⑤	解答の明記	○																																																																																									
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○																																																																																									
③	見直しをもつための問い	○	⑦	発展性	○																																																																																									
④	見直しの明記	○																																																																																												
内容	有無	内容	有無																																																																																											
学習の足跡等の記入	○	総合問題・入試問題	○																																																																																											
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																																																											
復習問題・復習内容	○	課題学習	○																																																																																											
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																																																																									
①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	—																																																																																									
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	—																																																																																									
③	見直しをもつための問い	○	⑦	発展性	—																																																																																									
④	見直しの明記	—																																																																																												
内容	有無	内容	有無																																																																																											
学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	—																																																																																											
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																																																											
復習問題・復習内容	○	課題学習	○																																																																																											
3 ・コンピュータ、情報通信ネットワークなど、どのような情報手段が取り上げられ、程度や分量はどのようなであるか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>57</td> <td>42</td> <td>58</td> <td>157</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「QRコンテンツ」に、フラッシュカード、プログラミング、アニメーション、動画、外部リンク等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	57	42	58	157	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>63</td> <td>50</td> <td>51</td> <td>164</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「リンクマーク」に、補充問題、アニメーション、資料等を位置付けている。</p>		1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	63	50	51	164																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
デジタルコンテンツ(個)	57	42	58	157																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
デジタルコンテンツ(個)	63	50	51	164																																																																																										
4-(1) ・教科書の総ページ数、重量はどのようなであるか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>336</td> <td>264</td> <td>320</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>546</td> <td>434</td> <td>516</td> <td>1496</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	336	264	320	920	重量(g)	546	434	516	1496	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>312(探究ノート50)</td> <td>254(探究ノート50)</td> <td>312(探究ノート58)</td> <td>878(探究ノート158)</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>518(探究ノート97)</td> <td>426(探究ノート97)</td> <td>520(探究ノート108)</td> <td>1464(探究ノート302)</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	312(探究ノート50)	254(探究ノート50)	312(探究ノート58)	878(探究ノート158)	重量(g)	518(探究ノート97)	426(探究ノート97)	520(探究ノート108)	1464(探究ノート302)																																																														
	1年	2年	3年	計																																																																																										
総ページ数(p)	336	264	320	920																																																																																										
重量(g)	546	434	516	1496																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
総ページ数(p)	312(探究ノート50)	254(探究ノート50)	312(探究ノート58)	878(探究ノート158)																																																																																										
重量(g)	518(探究ノート97)	426(探究ノート97)	520(探究ノート108)	1464(探究ノート302)																																																																																										
4-(2) ・障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。 ・印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。	<p>・ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>・発達段階に合わせた文字の大きさにし、字間、行間などは、ユニバーサルデザインにしている。</p>	<p>・全体的にユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>・発達段階に合わせて行間を開け、カラーユニバーサルデザインにしている。</p>																																																																																												
4-(3) ・数学用語の索引数は、どのようなであるか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>131</td> <td>52</td> <td>28</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	131	52	28	211	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>145</td> <td>62</td> <td>41</td> <td>248</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	計	索引数(個)	145	62	41	248																																																																								
	1年	2年	3年	計																																																																																										
索引数(個)	131	52	28	211																																																																																										
	1年	2年	3年	計																																																																																										
索引数(個)	145	62	41	248																																																																																										

種目【数学】(4/4)

調査の方法	116 日文																																																		
1-(1) ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために、どのような数学の学習内容が取り上げられ、程度や分量、構成等はどのようなか。 ・全国学力・学習状況調査等で課題とされている内容がどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<p>■基礎的・基本的な知識及び技能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>節末、章末の練習問題のページ数(p)</td> <td>31</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 第2学年「箱ひげ図」(高等学校からの移行内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>書き方の説明</th> <th>教科書への書込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドットプロットとの併記:○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラムとの併記:○</td> <td>(平均値表記:○)</td> <td>(3箇所)</td> </tr> <tr> <td>中央値の一般性:○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■全国学力・学習状況調査等の課題 (例)「データの活用」領域(第2学年「確率」除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「データの活用」領域の章のページ数(p)</td> <td>34</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 復習の位置付け: 第1学年「データの活用」の代表値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書(P223~256)</th> <th>用語の説明</th> <th>求め方の例示(式等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①平均値 ②中央値 ③最頻値</td> <td>①②③</td> <td>①②③</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	節末、章末の練習問題のページ数(p)	31	24	26	81	説明	書き方の説明	教科書への書込み	ドットプロットとの併記:○	○	○	ヒストグラムとの併記:○	(平均値表記:○)	(3箇所)	中央値の一般性:○				1年	2年	3年	計	「データの活用」領域の章のページ数(p)	34	17	16	67	教科書(P223~256)	用語の説明	求め方の例示(式等)	①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	①②③								
	1年	2年	3年	計																																															
節末、章末の練習問題のページ数(p)	31	24	26	81																																															
説明	書き方の説明	教科書への書込み																																																	
ドットプロットとの併記:○	○	○																																																	
ヒストグラムとの併記:○	(平均値表記:○)	(3箇所)																																																	
中央値の一般性:○																																																			
	1年	2年	3年	計																																															
「データの活用」領域の章のページ数(p)	34	17	16	67																																															
教科書(P223~256)	用語の説明	求め方の例示(式等)																																																	
①平均値 ②中央値 ③最頻値	①②③	①②③																																																	
1-(2) ・思考力、判断力、表現力等を育むために、どのような数学的活動や問題解決的な学習内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。 ・働かせる数学的な見方・考え方はどのように取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<p>■数学的活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一部の章の「学び合おう」に、「見通しをもとう→考えよう→話し合おう→ふり返ろう→深めよう→もっと深めよう」の過程を位置付けている。</p> <p>■数学的な見方・考え方</p> <table border="1"> <tr> <td>数学的な見方・考え方の一覧や特集等</td> <td>・巻頭:各学年2ページ ・大切な見方・考え方マーク</td> </tr> </table>						1年	2年	3年	計	問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	10	9	8	27	数学的な見方・考え方の一覧や特集等	・巻頭:各学年2ページ ・大切な見方・考え方マーク																																		
	1年	2年	3年	計																																															
問題発見・解決の過程を重視した数学的活動(p)	10	9	8	27																																															
数学的な見方・考え方の一覧や特集等	・巻頭:各学年2ページ ・大切な見方・考え方マーク																																																		
2-(1) ・数学のよさを実感できるように、どのような内容が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<p>■数学のよさの実感</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「数学のたんけん」で、その章で学習した内容に関連する話題や身近なテーマ等を位置付けている。</p>						1年	2年	3年	計	各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	10	4	4	18																																				
	1年	2年	3年	計																																															
各章:日常生活や社会等と関連した内容の特集(p)	10	4	4	18																																															
2-(2) ・家庭において自ら学習に取り組む上で、理解度を高めるためのどのような工夫があるか。	<p>■家庭学習 (例) 学習を進める構成: 第3学年「2次方程式の利用」(P82)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>手順</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>利用場面の設定</td> <td>—</td> <td>⑤</td> <td>解答の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>問題の設定</td> <td>○</td> <td>⑥</td> <td>解を吟味した結果の明記</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>見通しをもつための問い</td> <td>前述</td> <td>⑦</td> <td>発展性</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>見通しの明記</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) 巻末</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>有無</th> <th>内容</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習の足跡等の記入</td> <td>—</td> <td>総合問題・入試問題</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>当該学年の練習問題</td> <td>○</td> <td>トピック題材</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復習問題・復習内容</td> <td>一部</td> <td>課題学習</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					手順	内容	有無	手順	内容	有無	①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	○	②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○	③	見通しをもつための問い	前述	⑦	発展性	—	④	見通しの明記	○				内容	有無	内容	有無	学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	○	当該学年の練習問題	○	トピック題材	○	復習問題・復習内容	一部	課題学習	○
手順	内容	有無	手順	内容	有無																																														
①	利用場面の設定	—	⑤	解答の明記	○																																														
②	問題の設定	○	⑥	解を吟味した結果の明記	○																																														
③	見通しをもつための問い	前述	⑦	発展性	—																																														
④	見通しの明記	○																																																	
内容	有無	内容	有無																																																
学習の足跡等の記入	—	総合問題・入試問題	○																																																
当該学年の練習問題	○	トピック題材	○																																																
復習問題・復習内容	一部	課題学習	○																																																
3 ・コンピュータ、情報通信ネットワークなど、どのような情報手段が取り上げられ、程度や分量はどのようなか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルコンテンツ(個)</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「教科書QRコンテンツ」に、シミュレーション、練習問題、アニメーション、外部リンク、プログラミング等を位置付けている。</p>						1年	2年	3年	計	デジタルコンテンツ(個)	35	25	25	85																																				
	1年	2年	3年	計																																															
デジタルコンテンツ(個)	35	25	25	85																																															
4-(1) ・教科書の総ページ数、重量はどのようなか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数(p)</td> <td>324</td> <td>254</td> <td>296</td> <td>874</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>548</td> <td>418</td> <td>486</td> <td>1452</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	総ページ数(p)	324	254	296	874	重量(g)	548	418	486	1452																															
	1年	2年	3年	計																																															
総ページ数(p)	324	254	296	874																																															
重量(g)	548	418	486	1452																																															
4-(2) ・障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。 ・印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。	<p>・全体的にユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>・発達段階に合わせたフォントや文字の大きさ、行間隔、1行の文字数などにしている。</p>																																																		
4-(3) ・数学用語の索引数は、どのようなか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>索引数(個)</td> <td>125</td> <td>48</td> <td>35</td> <td>208</td> </tr> </tbody> </table>						1年	2年	3年	計	索引数(個)	125	48	35	208																																				
	1年	2年	3年	計																																															
索引数(個)	125	48	35	208																																															